



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 データセクション株式会社
 コード番号 3905 URL <http://www.datasection.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 澤 博史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 望月 俊男

TEL 03-6427-2565

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	264	4.2	4		7		4	
29年3月期第2四半期	254	38.8	28		23	442.6	12	356.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6百万円 (%) 29年3月期第2四半期 13百万円 (540.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.41	
29年3月期第2四半期	1.21	1.08

1. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	1,880	1,808	95.3	154.48
29年3月期	1,175	1,073	89.3	99.18

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,791百万円 29年3月期 1,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650	9.5	20	74.7	15	78.9	9	73.2	0.86
	~ 850	~ 43.1	~ 170	~ 115.1	~ 160	~ 124.6	~ 104	~ 186.0	~ 9.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,598,000 株	29年3月期	10,591,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,130,541 株	29年3月期2Q	10,323,337 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 3「1. 当四半決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、地政学リスクの高まりなどの諸要因により先行きは不透明な状況となっておりますが、経済状況としては企業収益の改善と輸出の持ち直しなど、緩やかながらも景気回復基調が続いております。

また、当グループが所属するITサービス市場におきましては、引き続き好調な市場環境を維持しており、人工知能(AI)ビジネスの国内市場は平成32年度には1兆20億円、平成42年度には2兆1200億円に拡大するといわれています。特に金融業のAIビジネス市場は年平均46.2%で成長すると試算されております。(※1)

こうした状況を踏まえ、当グループでは、長期的な展望に立ち、新規事業の開発を継続的に実施しております。特に人工知能(AI)による事業展開を推し進めており、当第2四半期連結累計期間においてはAI解析の新技术開発、並びに他業種展開に向けた業務提携及び資本業務提携を以下の通り行いました。

①AIプラットフォームの開発

「AIのすそ野を広げることが未来を創る」をテーマとして掲げ、AIプラットフォーム「MLFlow」を開発しております。当社のクラウド環境、あるいは提供するパッケージソフトをご利用いただくことで、企業の開発者や大学の研究者が自分で開発環境を整える必要がなくなり、AI事業への参入促進や開発期間の高速化につながる事が可能となります。また、AI開発の環境が整備されることで、様々な散在する技術やノウハウが有機的に融合し、革新的な技術創出につながる事が期待されます。

②海外展開

ベトナムにおいて、直接リーチ可能な多数のユーザー接点を保有しております。その接点を生かし、ソーシャルダイレクトマーケティングを展開する他、ユーザー接点を生かした直接の物販なども展開の予定です。

③ソーシャルメディアマーケティング

これまで当社が強みとしてきたソーシャルメディア分析のノウハウを生かしつつより広範な消費者行動の分析を行うため、流通小売のレシートデータを持つ株式会社ログノートとの資本業務提携を行いました。この提携により株式会社ログノートの持つ膨大な購買データに対して当社のソーシャルメディア分析やAI解析を行うサービスモデルが確立し、効果的なマーケティングの加速化が見込まれます。

また、これまで当社が強みとしてきたビッグデータ解析においても新しいサービスの開発を行っており、当第2四半期連結累計期間においては以下のサービスリリースを行っております。

- ・番組視聴者のプロフィール分析を容易に行えるサービスを開発し、テレビ番組口コミ分析サービス「TV Insight」上で提供を開始しております。

当社においては、今後もAIのプラットフォーム提供を中心とした事業展開によりAIのすそ野を広げ、様々な社会的課題の解決に取り組みます。この取り組みによりAIビジネスをさらに成長させ、事業規模を飛躍的に拡大してまいります。

(※1 出典：富士キメラ総研)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高264百万円(前年同四半期比4.2%増)、営業損失4百万円(前年同四半期は営業利益28百万円)、経常損失7百万円(前年同四半期は経常利益23百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円)となりました。

サービス別の状況は、以下のとおりであります。

イ. SaaS

SaaSにおきましては、ソーシャルメディア分析ツール「Insight Intelligence」、書き込みアラートサービス「Insight Checker」、テキストマイニングツール「Easy Mining」、事故・災害情報検知サービス「Social Hazard Signage」及び不適切投稿監視サービス「Social Monitor」などのラインナップを擁しております。ソーシャルメディアに対する企画ニーズの拡大に合わせ、提供製品を拡大しております。

ロ. ソリューション

ソリューションにおきましては、顧客が持つ「自社内ビッグデータ」を基に、当社グループで蓄積されている「ソーシャル・ビッグデータ」を組み合わせ、前述のSaaSサービス技術を活用したセミオーダー型システム開発を行うものです。一般商社向けに商品やサービスを提供する大手メーカー、サービス提供会社、広告会社・PR会社、コンサルティング会社等の広報部、宣伝部、コンサルティング部、営業戦略部、経営戦略部、リスク担当部などを対象顧客として、自社内に保有するデータを有効活用したいというニーズに応えるサービスです。

ハ. リサーチコンサルティング

リサーチコンサルティングにおきましては、SaaSで提供するサービスだけでは自社の要望を可視化できない顧客に対し、商品やプロモーションに対する口コミの専門家分析や、消費者と企業のつながり度を高めるソリューションを提供するものであります。ビッグデータの活用を経営課題としはじめた、大企業をはじめとする多くの企業からの引き合いが増加しております。

また、企業間取引にビッグデータを活用したいと考えるニーズへの対応にも取り組んでおります。情報サービスベンダー向けに、Web上のデータクロウリング技術を活用した新しい企業データベース構築支援の提供を行っております。これらの取り組みにより、これまでのBtoC企業に加え、BtoB企業への販路拡大も図っております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,500百万円となり、前連結会計年度末に比べて635百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が649百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、379百万円となり、前連結会計年度末に比べて69百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券が60百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、67百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金が19百万円、未払法人税等が17百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3百万円となり、前連結会計年度末に比べて0百万円減少いたしました。この要因は、繰延税金負債の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,808百万円となり、前連結会計年度末に比べて735百万円増加いたしました。この主な要因は、新株予約権の行使に伴う資本金及び資本剰余金が745百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に「平成29年3月期 決算短信[日本基準(連結)]」にて公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	720,166	1,369,937
受取手形及び売掛金	123,202	99,534
その他	21,957	31,216
流動資産合計	865,327	1,500,688
固定資産		
有形固定資産	44,289	42,998
無形固定資産	113,875	128,540
投資その他の資産	152,149	208,374
固定資産合計	310,314	379,914
資産合計	1,175,641	1,880,602
負債の部		
流動負債		
未払金	42,684	22,890
未払法人税等	24,308	6,926
その他	31,553	38,010
流動負債合計	98,545	67,827
固定負債		
資産除去債務	3,510	3,510
その他	470	418
固定負債合計	3,981	3,928
負債合計	102,527	71,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,530	888,390
資本剰余金	293,156	666,016
利益剰余金	241,454	236,875
株主資本合計	1,050,141	1,791,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	107
為替換算調整勘定	247	303
その他の包括利益累計額合計	247	410
新株予約権	3,987	6
非支配株主持分	18,738	17,146
純資産合計	1,073,114	1,808,845
負債純資産合計	1,175,641	1,880,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	254,238	264,971
売上原価	114,011	147,799
売上総利益	140,227	117,171
販売費及び一般管理費	111,394	121,555
営業利益又は営業損失(△)	28,833	△4,383
営業外収益		
消費税免除益	1,126	-
匿名組合投資利益	-	3,776
その他	77	773
営業外収益合計	1,204	4,550
営業外費用		
持分法による投資損失	4,269	4,071
株式交付費	-	3,063
為替差損	2,517	81
その他	7	58
営業外費用合計	6,793	7,276
経常利益又は経常損失(△)	23,243	△7,109
特別利益		
持分変動利益	-	200
特別利益合計	-	200
特別損失		
減損損失	5,870	-
投資有価証券評価損	-	1,703
特別損失合計	5,870	1,703
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,373	△8,612
法人税、住民税及び事業税	10,467	2,668
法人税等調整額	△6,620	△5,103
法人税等合計	3,846	△2,435
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,526	△6,177
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,021	△1,598
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,505	△4,578

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,526	△6,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	107
為替換算調整勘定	-	61
その他の包括利益合計	-	169
四半期包括利益	13,526	△6,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,505	△4,415
非支配株主に係る四半期包括利益	1,021	△1,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,373	△8,612
減価償却費	26,413	31,699
減損損失	5,870	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,802	-
受取利息及び受取配当金	△33	△25
持分法による投資損益(△は益)	4,269	4,071
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,703
匿名組合投資損益(△は益)	-	△3,776
株式交付費	-	3,063
持分変動損益(△は益)	-	△200
為替差損益(△は益)	2,517	△1
その他の営業外損益(△は益)	7	△567
売上債権の増減額(△は増加)	26,527	23,701
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,398	1,468
未払金の増減額(△は減少)	9,762	△19,708
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,633	△4,033
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,570	△4,515
その他の負債の増減額(△は減少)	17,151	8,725
その他	-	187
小計	90,327	33,180
利息及び配当金の受取額	33	25
法人税等の支払額	△1,833	△19,811
法人税等の還付額	1,907	698
その他	-	△58
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,434	14,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,673	△1,424
無形固定資産の取得による支出	△39,706	△43,647
投資有価証券の取得による支出	△40,400	△57,164
関係会社の清算による収入	-	1,838
保険積立金の積立による支出	△2,730	△2,746
その他	-	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,511	△102,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,776	738,676
非支配株主からの払込みによる収入	11,428	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,204	738,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,517	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,609	649,770
現金及び現金同等物の期首残高	717,509	719,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	737,119	1,368,937

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行に伴い、資本金が372,860千円、資本剰余金が372,860千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が888,390千円、資本剰余金が666,016千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。